

第 5 6 号 平成 2 9 年 1 2 月 1 日

発 行 所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel)0550-87-0004 (Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>

《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
新規事業との連携を強化し、地域医療・福祉に貢献します



多職種連携のさらなる強化へ

診療部 江藤秀顕

今年の四月に訪問看護ステーション『マリア』と小規模多機能型居宅介護事業所『マリアの家』が開設されました。病気を患っていても住み慣れたご自宅や地域において、医療や看護、通いや泊まりといったサービスを受けながら最期まで満足のいく生活が出来るようにと支援を続けています。

このようなサービスが円滑に行われるためには医師と看護師はもちろんのことですが、近くの開業医や歯科医、薬剤師、介護士など多職種との連携が欠かせません。地域包括センターや居宅介護事業所のケアマネジャー、医療相談員や行政職員との連携も大切です。急な入院に備えて復生病院内の外来や病棟スタッフ、事務部の職員との連携も重要です。

昨年11月在宅医療推進事業の一環として県と県医師会の主催で多職種連携リーダー研修会が開催されました。御殿場市も8名の多職種からなるメンバーでチームを編成して参加しました。私も一員として加わり、グループ会議で連携を深めました。富士市で今月開催される二回目の研修会にも参加する予定です。

復生病院内でも合同カンファレンスが定期的に行われ、理学療法士や管理栄養士も参加して入院患者一人一人の状態について意見交換を行っています。在宅医療をより円滑に進めるための新たな勉強会も始動しており、今後は御殿場市内の病院・診療所や介護施設、そこで活躍している医療スタッフや行政などと顔の見える関係を築きながら連携をより一層進めていく予定です。

私たち医療従事者が地域の皆さんに安心を与え、信頼される存在であるためにもスタッフそれぞれがお互いの職能を理解・尊重・協力し合いながら多職種の連携をさらに強化していくことが大切だと思います。



『収穫祭』が行われました

療養病棟 山下美香子

10月17日（火）にホスピス病棟と療養病棟の合同レクリエーションでヨゼフ棟の方も参加していただき、収穫祭が行われました。たくさんの方で賑やかなものになりました。

ホスピス病棟の中庭で栽培されていたさつまいもは、育ちがよく去年の2倍ほどあったそうです。このさつまいもは、ふかし芋となり、他4種類の患者さんが食べやすい形態のデザートも作って頂き、患者さんやご家族様とともに美味しくいただきました。

当日は、患者さんに疑似体験として新聞紙で作られた、シイタケ・サツマイモ・柿を収穫しました。こちらは療養病棟のレク係りスタッフの手作りのもので患者さん達にも、とても好評でした。その後は、ハロウィンの帽子をかぶって写真撮影をしたり、デザートを食べたりと入院生活のなかでの非日常のひとつを楽しんでいただけたのではと思います。普段のレクリエーションの時間には「私はいいわ...」と言われる患者さんも、この日は部屋から出て参加し「楽しかったねー」との声と笑顔がみられました。

収穫祭とは、『作物の無事の収穫を祝うため、農村で行われた行事。人類が食物を得るために狩猟から栽培に変わったあたりから始められてきたとされその起源は古いとみられる』とあります。

皆さんと楽しんだ収穫祭には、人間として必要不可欠である食物への感謝の表れとして、そして今後も皆様の無事を祈って楽しめていけたらと思います。



頑張れ！もう少しです



秋のスイーツが並びました



はい、チーズ！



中学生職場体験が行われました

看護部長 杉山美貴子

中学生職場体験が11月9、10日及び11月14日から16日の間、神山復生会において行われました。今年は富士岡中学校から2名、中郷西中学校から1名の参加がありました。中郷西中学校からは初めての参加でした。両校の生徒さん共に初日は緊張した面持ちでしたが、専門職からの説明を一生懸命聴くことが出来ました。神山復生会での職場体験は、例年様々な専門職者に仕事の内容について講義をして頂き、その後実際に体験をしてもらいます。例えば、薬剤課ではマールチョコを菓にみたてて分包機にかけ、実際のお菓のように仕上げる過程を経験します。また、リハビリ課では医療機器を使用してみます。この様な体験を重ねていくうちに、生徒さんはイキイキとした表情となり、自然に笑顔がこぼれるようになります。短い時間ではありますが、将来を考える時のお役に立てればという思いで、様々な職員が協力してサポートしております。今後も、将来医療の道を考えておられる学生さんを、神山復生会では応援していきたいと考えております。興味をお持ちの方は遠慮なくご連絡下さい。中学生の皆さん、お疲れさまでした！！



低周波・赤外線照射器の説明



パラフィン浴体験



起立台の実体験





「遺族ケア」を開催しました

事務部長 森田秀一郎

カトリック病院である当院は、11月を死者の月として過ごしています。その為に、毎年11月に前年の9月から今年の8月までの1年間に亡くなられた患者様のご家族を対象に「遺族ケア」を開催しています。今年は、11月4日（土）に行われました。当日は、最初に当院の聖堂にて御殿場教会金子神父様司式による「追悼ミサ」があり、その後茶話会となりました。例年、「遺族ケア」への参加人数は、約50名でしたが、今年は例年の倍の100名を超える方の参加があり、茶話会の会場をいつも実施しているホスピス病棟のラウンジから外来待合室に変更しました。茶話会では、亡くなられた患者様の生前の思い出などを職員と一緒に語り合い、追悼ミサを含めて約2時間という短い時間でしたが、ご家族の方に大切な時間を過ごしていただきました。亡くなられた患者様のご冥福をお祈りいたします。



金子神父様



大勢の方が茶話会にも参加して下さいました



メッセージで花束が出来ました



連載！ 復生病院で働いた人々④

シスター 徳永美智子

復生病院で働いた人々のシリーズ第4回目は、Kさん(女性)についてお話をしましょう。Kさんは昭和46年8月17日に雑役として復生病院に就職、平成6年3月に退職されています。Kさんは、一人で仕事をされるのがお好きで、23年間、今の記念館別館の後ろに残っている洗濯場で、朝早くからお湯を沸かし、前日に水に浸しておいた洗濯物を熱湯消毒し、ドラム様式の洗濯機に入れ黙々と洗っておられる姿を思い出します。就職された当時は、患者さんたちの洗濯も病院洗濯場でされていましたが、その内、女子棟と男子棟、ヨゼフ棟の元気な方たちは、それぞれの棟に洗濯機が入り、ご自分たちで小物を洗濯されるようになりました。Kさんはシーツや包帯等の洗濯をして下さいました。記念館裏の洗濯場では毎週月曜日になると、干し場は真っ白なシーツで満艦飾まんかんしよくになりました。洗濯日の翌日や雨天の際は、アイロンがけが始まります。洗濯場の中にガラス戸で区切られた畳の部屋がありましたので、アイロンがけや休憩の場として使用されていました。23年間の長きに亘り、洗濯や雑役をして下さったKさんに感謝を申し上げます。

復生病院の128年の歴史の一コマを担って下さったKさん！ありがとうございました。

次回をお楽しみに。



＝ 今回のおすすめ



チャーハン



うまいラーメン

『うまいラーメン 松福』

私が紹介したいところは沼津東椎路にある松福というラーメン屋です。メニューはうまいラーメン、豚骨ラーメン、味噌ラーメンとありますがおすすめはうまいラーメンです。うまいラーメンは豚骨100%で濃厚な仕上がりになっているので、本当に美味しくて一度食べたら病みつきになります。

あと、松福はチャーハンも美味しいです。半チャーハンでも他の店の一人前くらいあるので頼む時には要注意です。

美味しいので是非一度食べてみてください。

(紹介者 療養病棟 羽畑はるか)

外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制

土曜日の内科の診察は第2週のみ



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(林)	内科(平田)	内科(林)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科(岡部) 第2週のみ 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

外来休診日 12月25日(月)、12月30日(土)から1月3日(水) 1月4日(木)から平常診療

皮膚科外来予定表



太田 有史 医師	診察日	1 2 / 2	・	1 / 6	・	2 / 3
新村 真人 医師	診察日	1 2 / 9	・	1 / 13	・	2 / 10
井ノ口早苗 医師	診察日	1 2 / 16	・	1 / 20	・	2 / 17
石地 尚興 医師	診察日			1 / 27	・	2 / 24

都合等により、休診や代診の場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

『ふれあい作品展』が行われました

事務部 和田好穂



毎年恒例となりました「ふれあい作品展」を11月8日から15日の間、外来待合に展示いたしました。絵画、写真、書、陶芸、織物等作られた方の真心が伝わってくる見ごたえのある作品でした。その作品を患者さんや来院された方が一点一点熱心に鑑賞されていました。

その中に今年から開所しました、小規模多機能型居宅介護事業所「マリアの家」利用者様の作品があり、素晴らしい作品に感激いたしました。

出品を頂いた皆様、見に来て下さった皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

職員募集

薬剤師・看護師・介護員
見学も出来ますので、ご連絡下さい。

連絡先：0550-87-0004 担当：森田

お知らせ

病院ホームページが新しくなりました。
是非ご覧になって下さい。

<http://www.fukusei.jp/>

編集後記

11月の23日に記念館の建物見学会を開催しました。多くの方々に参加していただき、ありがとうございました。そこで新たに知ったこともあり、これから見学の方々にご披露しようと思っています。さて広報誌の名前にもなっている「かえでの森」今年も美しい紅葉で楽しませてもらいました。もみじの赤い色はアントシアニンに由来しているんだそうです。なんだか体によさそうな・なんと、もみじのお茶もあるらしいですよ。気になる方は検索してみてください。次号もお楽しみに！

